

DSFSA

Delta Smile Facial Survey Analyzer

本研究は、ユーザーの笑顔を作る動画をもとに分析を行い、どのような笑顔をつくる相手と良好な人間関係を築くことができるのかを考察する。出会いの形が多様化する中で、全てのユーザーとコンタクトをとることは不可能である。笑顔からユーザーの分析を行い、ユーザーが魅力的に感じる相手の情報を開示するための要因を考察する。動画を用いることで中立の表情から、笑顔の作り方を分析を行うことが可能になる。表情データ、顔のパーツデータ、および印象データをもとにどのような相手に魅力を感じ、良好な人間関係を築くことができる可能性を秘めているのか判断する因子を考察を行う。

研究背景

婚活パーティー、マッチングアプリなど出会いの形が多様化おり、人間関係を構築するための新しい手段を提供している。

相手を判断する材料として表情がある。

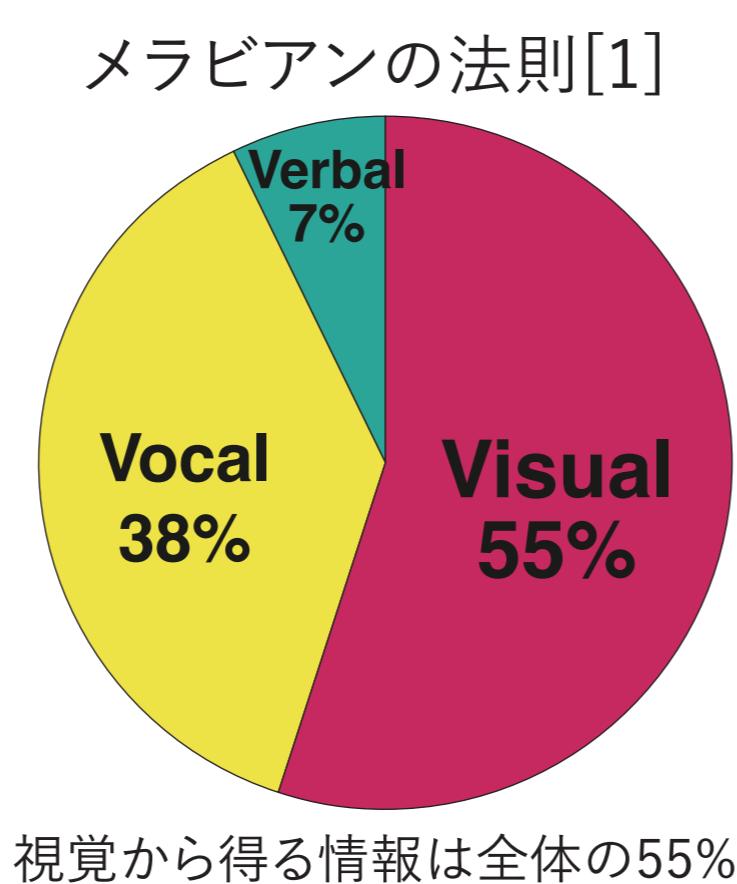
相手を判断する判断材料として表情の占める比率が高い。

その中でも「笑顔」は人の魅力に大きく影響する。^{[1][2]}

パーティー参加者数 カップル成立人数
50160 人 23904 人(11952組)
2019年10月 シャンクレール調査

| | |
|--|--------|
|  pairs | 1000万人 |
|  tapple | 450万人 |
|  Omiai | 430万人 |

マッチングアプリ登録者 上位3種類



問題意識/仮説

問題意識

パーティー、アプリケーションでは人数が多いため、全員とコンタクトをとり、笑顔を見ることは難しい。



事前に魅力を感じる相手を把握することができれば、良い出会いに遭遇する確率が高くなる。

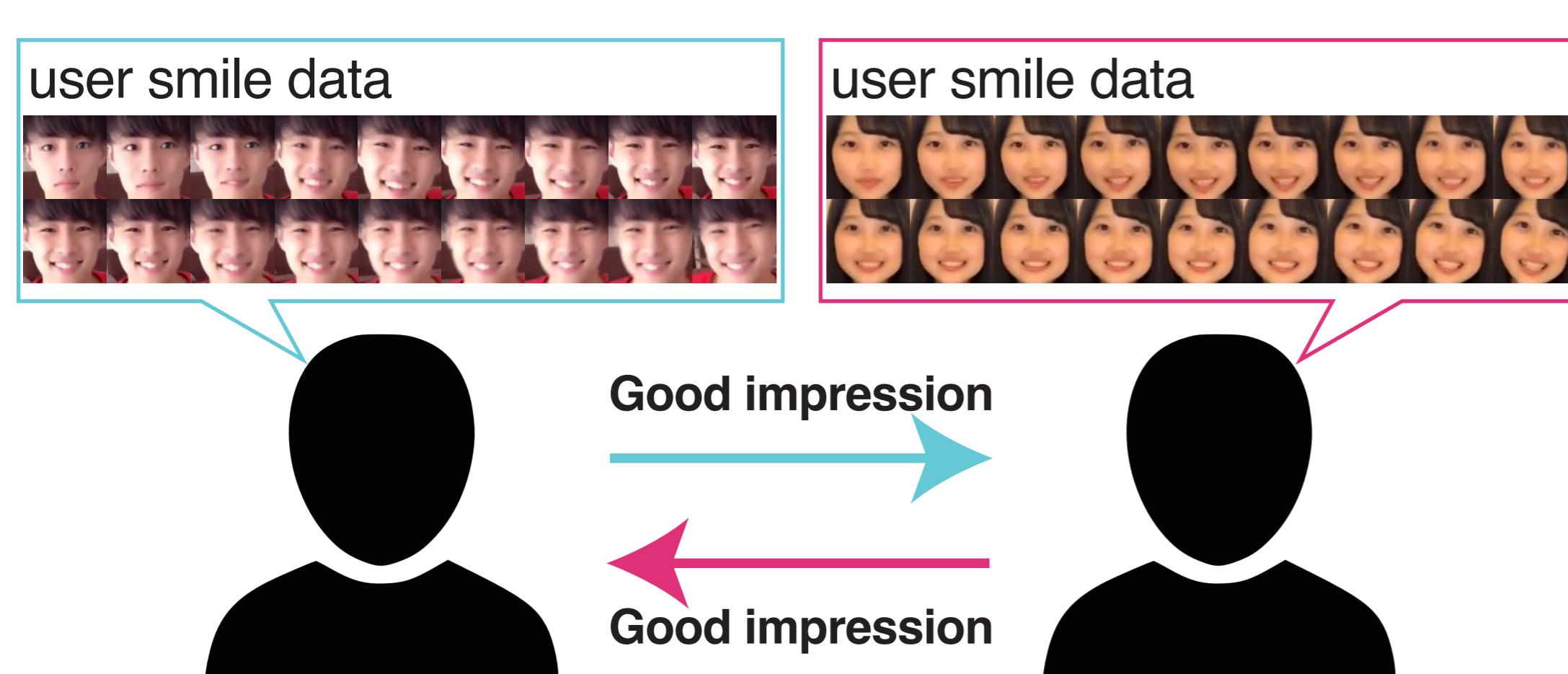
仮説:

笑顔の作り方が似ている人同士は惹かれる傾向があるのではないか

目的

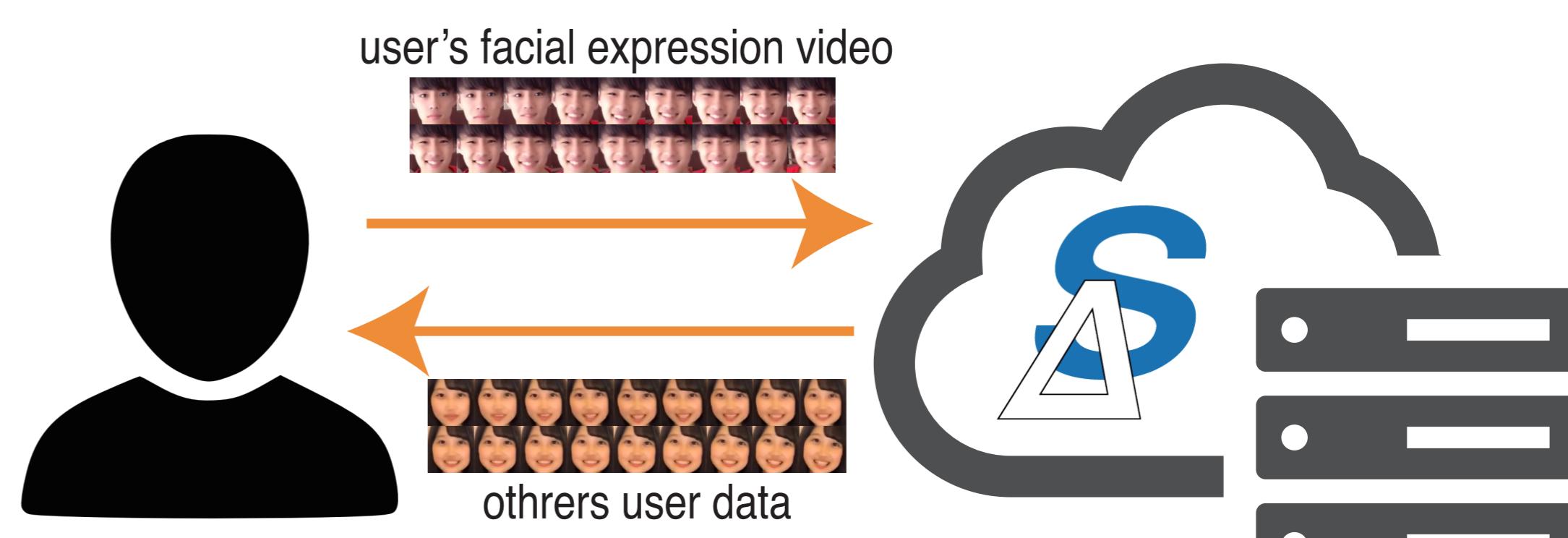
良い人間関係を築く助長をするシステムの構築をする。

「笑顔」からユーザーを分析し、魅力的に感じる相手の情報を開示のため、必要な要因を考察する。



アプローチ

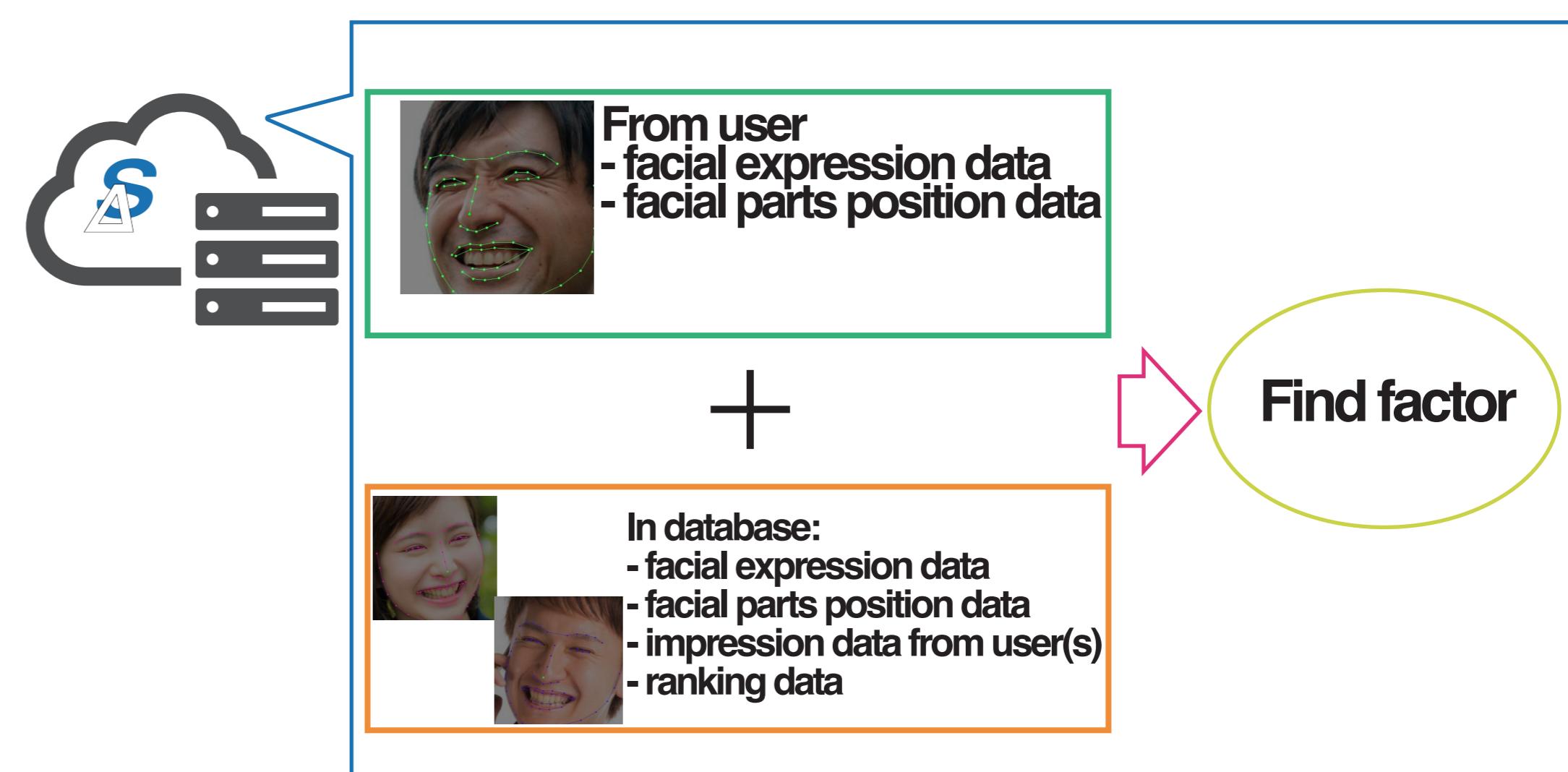
画像でなく、動画による分析で笑顔の作り方を取得する[3]。笑顔の作り方からどのような相手に惹かれるのかを分析。



グループ分けしたデータセットの中からランダムに表示をしてユーザーに順位づけをしてもらう
どのような笑顔に人は惹かれるのかを分析する

評価

表情データ、顔のパーツデータ、ユーザーからの評価データを使用して評価を行う。



実装

システムフロー:

